

主要な経済指標の発表予定と予測 (3/10~3/14)

経済調査部 エコノミスト

坂中弥生

03-3591-1242

yayoi.sakanaka@mizuho-ri.co.jp

【来週の注目材料】※（ ）内はみずほ総研予想

- 10日 : 10~12月期の実質GDP成長率2次速報（前期比+0.3%、年率+1.1%）
: 1月の経常収支（1兆3,893億円の赤字）
: 2月の景気ウォッチャー調査
- 11日 : 日銀金融政策決定会合（10・11日）、日銀総裁定例記者会見
: 2月のマネーストック
- 12日 : 1~3月期の法人企業景気予測調査
: 2月の国内企業物価指数（前月比+0.3%、前年比+2.2%）
: 1月の第3次産業活動指数（前月比+0.5%、前年比+1.7%）
: 日銀金融経済月報（3月）
: 2月の消費動向調査
- 13日 : 1月の機械受注（船舶・電力を除く民需）（前月比+3.9%、前年比+13.2%）
- 14日 : 日銀金融政策決定会合議事要旨（2/17・18分）
: 1月の設備稼働率

経常利益は8四半期連続 の前年比増益

10~12月期の法人企業統計（3/3発表）では、経常利益が前年比+26.6%（7~9月期同+24.1%）と8四半期連続の増益となった。固定費削減が続いたほか、売上高が2四半期連続で増加したことが増益に寄与した。業種別にみると、製造業では鉄鋼、輸送用機械など、非製造業では建設、卸売・小売などを中心に幅広い業種で増収増益となった。

来週は実質GDP（2次速報）、機械受注などが発表される。

実質GDPは1次速報と ほぼ変わらず

10日に発表される10~12月期の実質GDP（2次速報）は、前期比+0.3%（年率+1.1%）と1次速報（前期比+0.3%、年率+1.0%）からほぼ変わらないと予測する。設備投資・公共投資が下方修正される一方、在庫投資が上方修正されるとみられる。外需のマイナス寄与が続く中、公的需要が鈍化し、個人消費も駆け込み需要を除くと力強さを欠いたとの評価は1次速報時点と変わらない見込みである。

経常収支は1兆円超の大 幅赤字

10日に発表される1月の経常収支は1兆3,893億円の赤字（12月6,386億円の赤字）と予測する。円安などを背景としてサービス収支の改善や所得収支の

国内企業物価指数は上昇傾向

第3次産業活動指数は2カ月ぶりに上昇

機械受注は2カ月ぶりに増加

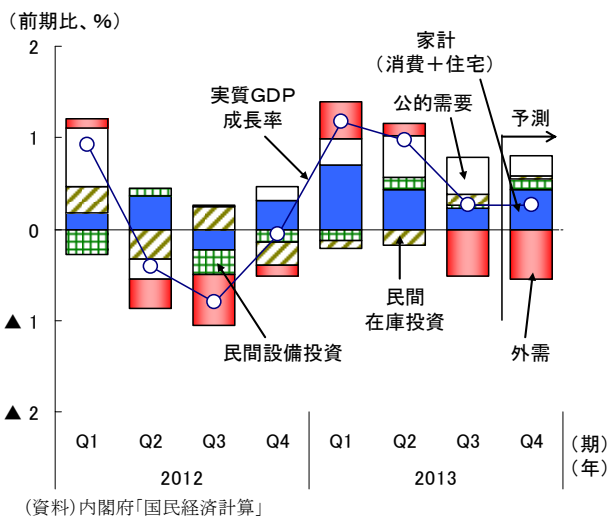
拡大傾向が続くとみられる。一方、貿易収支は、駆け込み需要に対応した輸入増加により大幅に赤字が拡大し、経常収支は1兆円を超える赤字となる見込み。

12日に発表される2月の国内企業物価指数は、前月比+0.3%、前年比+2.2%（1月前月比+0.1%、前年比+2.4%）と予測する。鉄鋼などで円安による輸入コスト上昇分の価格転嫁が進んでいることから、国内企業物価指数は3カ月連続で前月比プラスとなるだろう。

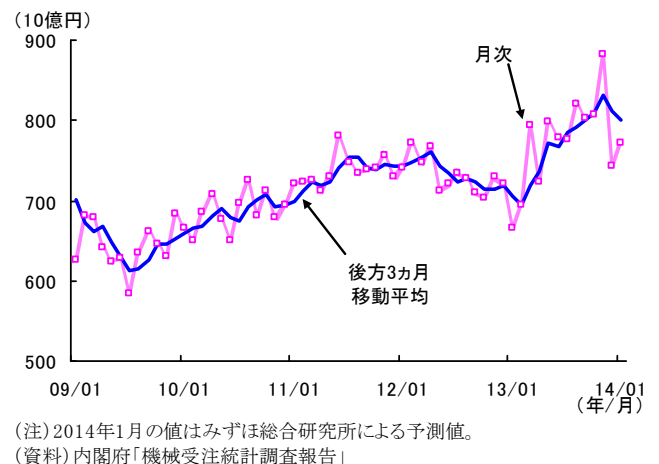
12日に発表される1月の第3次産業活動指数は、前月比+0.5%（12月同▲0.4%）と予測する。消費増税前の駆け込み需要により小売業などの活動指数が上昇し、第3次産業活動指数は2カ月ぶりに前月比プラスとなる見込み。

13日に発表される1月の機械受注統計（船舶・電力を除く民需）は、前月比+3.9%（12月同▲15.7%）と予測する。一般機械や電気機械などを中心に受注増加が見込まれ、機械受注は2カ月ぶりに前月比プラスとなる見込み。

図表1 実質GDP成長率の推移



図表2 機械受注（船舶・電力除く民需）の推移



執筆担当～ 坂中弥生

予測担当～ 実質GDP成長率（2次速報）：徳田秀信、経常収支：中村拓真

国内企業物価指数：風間春香、第3次産業活動指数・機械受注統計：坂中弥生

米国主要経済指標（ダイアリー掲載分）：山崎亮

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。

【 来週のダイアリー 】

日付	経済指標等	予想	前回	前々回
3/7(金)	米 雇用統計(2月)			
	失業率	[6.6%]	6.6%	6.7%
	非農業部門雇用者数 前月差 時間当たり賃金(全従業員ベース) 前月比	[+115千人] [+0.2%]	+113千人 +0.2%	+75千人 ±0.0%
	貿易収支(1月) 財・サ収支	▲385億 ^{ドル}	▲387億 ^{ドル}	▲346億 ^{ドル}
3/8(土)	中 貿易収支(2月) 米ドル	+145億 ^{ドル}	+319億 ^{ドル}	+253億 ^{ドル}
	輸出総額(2月) 前年比	+7.5%	+10.6%	+4.3%
	輸入総額(2月) 前年比	+7.7%	+10.0%	+8.3%
3/9(日)	中 消費者物価指数(2月) 前年比	+2.0%	+2.5%	+2.5%
3/10(月)	日 GDP(10~12月期2次速報) 前期比	[+0.3%]	10~12月期1次速報 +0.3%	7~9月期 +0.3%
	国際収支(1月速報)	経常収支 (前年比) [-] 貿易収支 (前年比) [-]	▲13,893億円 [-] ▲12,126億円 [-]	▲5,928億円 - ▲12,543億円 -
	景気ウォッチャー調査(2月) 現状判断DI	N.A.	54.7	55.7
	全国企業倒産件数[帝国データ](2月)	N.A.	809件	726件
	3/11(火)	日 マネーストック M2 前年比 (2月速報) M3 前年比 広義流動性 前年比	+4.4% +3.5% N.A.	+4.4% +3.5% +4.4%
	日銀金融政策決定会合(10・11日) 日銀総裁定例記者会見			
	米 3年国債入札			
3/12(水)	日 第3次産業活動指数(1月) 前月比	[+0.5%]	▲0.4%	+0.8%
	国内企業物価指数(2月) 前月比	[+0.3%]	+0.1%	+0.3%
	消費動向調査(2月) 消費者態度指数	[+2.2%]	+2.4%	+2.5%
	消費動向調査(2月) 消費者態度指数	N.A.	40.5	41.3
	日銀金融経済月報(3月)			
	法人企業景気予測調査(1~3月期)			
	米 10年国債入札			
	泰 金融政策決定会合			
3/13(木)	日 機械受注(1月) 前月比 [船舶・電力を除く民需] 前年比	[+3.9%] [+13.2%]	▲15.7% +6.7%	+9.3% +16.6%
	中 鉱工業生産(1・2月) 前年比	+9.5%	12月 +9.7%	11月 +10.0%
	米 小売売上高(2月) 前月比	[+0.2%]	▲0.4%	▲0.1%
	失業保険新規申請件数(~3/8)	[335千人]	323千人	349千人
	30年国債入札			
	尼 金融政策決定会合			
	韓 金融政策決定会合			
3/14(金)	日 設備稼働率(1月)	N.A.	101.3	99.1
	日銀金融政策決定会合議事要旨(2/17・18分)			
	5年利付国債入札			
	米 ミシガン大消費者信頼感指数(3月速報)	[81.6]	81.6	81.2
	生産者物価指数(2月) 前月比 [食品・エネルギーを除く] 前月比	+0.2% +0.1%	+0.2% +0.2%	+0.1% ±0.0%

予想：[]はみずほ総合研究所予想、それ以外はコンセンサス(Bloomberg等)。予定は変更になる可能性があります。
日：日本、米：米国、欧：欧州、英：英国、独：ドイツ、中：中国、韓：韓国、印：インド、尼：インドネシア、
泰：タイ、比：フィリピン、伯：ブラジル、馬：マレーシア